

「適切な情報発信ができる児童の育成を目指して」

茨城県筑西市立竹島小学校

ねらい・目的

各教科等の学習において、児童が、学校ウェブサイトから情報発信を行うことを通して、児童が自ら考え、判断し、適切な情報発信ができることをねらいとして、行ったものである。

内容

国語、理科、総合的な学習の時間において、CMS（コンテンツ・マネージメント・システム）の一つであるNetCommons（国立情報学研究所が開発）を利用し、学習した内容について閲覧者を意識し、分かりやすく表現することを通して、適切な情報発信について考えさせた。

適切な情報発信ができるようにするために、学校ウェブサイトから児童が情報発信をする際には、学校の記者としての情報発信であるという意識を持たせるようにした。「竹の子記者」というハン

ドル（インターネット上で情報発信をする際の別名のこと）をつけ、ウェブサイト上にも表示されるようにした。

また、竹の子記者の「やくそく」（資料１）を作成し、情報発信の基本的な約束事について項目数をしぼり、ウェブサイト内に掲載した。児童が情報発信する際には、まずこの約束事を守って行うよう指導した。

そして、保護者を「サポーター」として、児童の作成した記事に対してコメントを寄せていただくようにした。児童は、自分の作成した記事に他者からのコメントがつくこと、また多数の人の目にふれることで、緊張感をもって情報発信することになる。そのことは、インターネットの向こうに人がいることを意識させることにつながると考えた。

ウェブページにするための写真の取り込み、文字の入力等は児童自身が行い、承認機能を利用し、教職員がチェックしてから公開した。

資料１・ウェブサイト内に掲載した児童用の「やくそく」

やくそく

楽しく利用できるように次のことを守りましょう。

1. 記事は、学校での生活の中で、よかったこと、がんばったこと、楽しかったことなどについて書いていきましょう。
2. 読んだ人が分かりやすいように、どこで、だれが、どうしたのか」と自分の思いや考えを加えて書くようにしましょう。
3. 人の写真には、「肖像権」(しょうぞうけん)があります。だれであるか分かるような大きな顔の写真は、のせてはいけません。また、写真をとる前に「ホームページで使いたいので、写真をとってもいいですか。」と許可をもらいましょう。
4. 自分や友達の住所や電話番号などの「個人情報」(こじんじょうほう)は、のせてはいけません。
5. テレビやマンガにでてくるキャラクターの名前や写真などは、のせてはいけません。「著作権」(ちやくさくけん)を守りましょう。

先生がチェックしてから、外に公開します。
たくさんの方が見ます。正しい言葉遣いで分かりやすく伝えられるといいですね。
学校での楽しいことをみんなにたくさん紹介しましょう。

連絡先 mail 図
webmaster
kenyu@takesho.sakurane.jp
net commons

おすすめ:
竹小ブログ
「竹の子記者」の子ど
中心になって記事記
PTA・地域
サポーターが、PTA
での子どもたちの様
今日の給食
「竹の子記者」の子ど
給食メニューを紹介
学習コ
子どもたちが各教科
した内容を発信して
参加しよう!
ワンクリックア
ワンクリックできる
です。クリック後、無
みんなで作る
このホームページは、
をみんなで作成
メッセージを
「竹の子記者」の子ど
メッセージをお待ち

実践結果（今後の課題）

児童自身が実際に写真を撮影し、コンピュータに取り込んだり、文字を入力したりし、それがそのままウェブサイト上に掲載されたので、意欲的に取り組んだ。その際に、著作権や分かりやすい表現の工夫等について、閲覧者を意識して自ら考え、判断しながら取り組むことができた（資料2、3）。

PR（特徴・工夫・努力した点など）

児童による学習成果の発信を行い、そのことを通して、情報モラルや表現力を育成していくことができた。

児童による情報発信の回数が増えることで、児童は適切な情報発信ができるようになった。

備考（実践の参考となる公開中のHPアドレス、写真、資料等）

みんなで作る参加型ホームページ

<http://kensyu-takesho.sakura.ne.jp/>

資料3・児童が作成した記事例



題名	竹島小学校の池
紹介文	竹島小学校では、校庭の東がわに池があります。その池には、金魚や、鯉や蛙がいます。昔は、岩場だったそうです。昭和60年ごろにできたそうです。冬には、氷をわって遊びます。まん中に台のような木があります。雨がいついふると時々あふれます。その池の後ろにいろいろな絵がかいてあるカンバンがあります。1年生から2年生の前半くらいには、池でいっぱい遊びました。竹島小学校に池があってよかったです。

資料2・実践事例

- 第4学年 理科 「生き物を調べよう」
- ねらい
 - 身の回りにいる冬の生き物について調べることができる。
- 「適切な情報発信」の視点
 - ・デジタルカメラを使って、生き物の様子が伝わるような写真の撮り方を工夫することができる。（写真1）
 - ・観察記録をもとに、校内で見つけた生き物について読み手に分かりやすく表現することができる。



写真1・デジタルカメラで撮影

- 学習の流れ
 - ・デジタルカメラを使って、校内にいる冬の生き物を探すことを確認する。
 - ・写真だけでは伝わらない内容として何があるかを考える。
 - ・観察の視点にしたがって、校内にいる生き物を探す。
 - ・デジタルカメラで撮影した写真と観察記録をもとにして、コンピュータに入力する。（写真2）
 - ・でき上がった記事を互いに見合う。



写真2・授業の様子